

令和5(2023)年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

施設名称	郡山市北部地域子育て支援センター	施設区分	事業実施型
施設所在地	郡山市富久山町久保田字伊賀河原44番地の1	指定管理者	太陽・プチマン企業共同体
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日	施設所管部課	こども部こども家庭未来課

評価項目	評価基準	配点(標準点)	指定管理者自己評価	自己評価コメント	市評価	市評価コメント	特記事項
I 市民の平等な利用の確保							
1 平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。(例:使用許可、使用料等の減免、利用の制限等)	2(1)	2	入場制限等の制約が無くなった為、新たなボランティア団体、子育て支援団体の活動の誘致が出来た。	2	利用者の平等な利用に努めた。	
2 危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。(例:マニュアル整備、訓練等)	2(1)	1	隣接保育所との連携を図り、合同避難訓練及び緊急連絡体制網の構築を行った。	2	隣接保育所との合同避難訓練を行った。	
小計		4	3		4		

II 施設の効用の最大限の発揮							
3 管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。	4(3)	3	新たなイベントの実施や回数及び内容の工夫、飲食スペースの復活など、コロナ禍以前よりも工夫を行った。	3		
4 事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。サービス向上の取り組みがなされているか。	10(6)	8	新たな試みとして、月間イベントも導入し、リピート率の向上を図った。	8	イベントを分散開催するなどの工夫がみられた。	
5 広報・PRの実施	利用促進のための取り組みを実施しているか。(例:事業の開催案内、ホームページの管理等)	4(3)	3	独自のHPを利用し情報の発信や、QRコードの導入など、『利用のしやすさ』が向上できた。	3		
6 接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4(3)	3	全職員が変わることもなく、経験値が向上し、それがサービスの向上に繋がっている感がある。	3		
7 苦情・要望の把握・対応	利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。(記録簿整備を含む。)特に重要な事業については、遅滞なく市へ報告しているか。	4(3)	3	近隣住民からの車の騒音の問題があり、いまだにご指摘を受けてしまうことがあるので懸念事項として残った。	3		
8 市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、地元等との連携を図っているか。(例:施設間の回遊・相互利用、地元とのタイアップ、積極性等)	4(3)	2	他施設とも連携をし、イベントの開催やお祭り等への参加が出来た。	2		
9 利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。	3(2)	2	近隣住民の方と利用者との間での意見が一部懸念事項として残ったが、第二駐車場の雑草問題等が改善された。	2		
小計		33	24		24		

III 管理経費の縮減							
10 帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。契約に当たり、適正な経費算定(積算)が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われているか。	5(3)	3	各報告書、台帳等、適切な管理が行えた。	3		
11 収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取り組みを推進しているか。指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。	5(3)	3	収入に関しては指定管理料のみで、支出は適正に行われた。ただ、予算の執行に関しては物価変動の影響もあり多少運営を圧迫した。	3		
小計		10	6		6		

IV 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤							
12 人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	5(3)	4	外部研修として2名の人員を都内で受講した。また、昨年度から導入した社内での17・1717も引き続き実施した。	4	職員に対し、研修の積極的な受講に努めた。	
13 収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	5(3)	4	予算額を超えることが無く、安定的な財務状況にて管理運営が行えた。	3		
14 連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。	5(3)	3	監督課との連携を図り概ね円滑に履行できた。	3		
小計		15	11		10		

V 適切な施設の維持管理							
15 施設・設備の保守管理	法定点検が確実に行われているか。施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。(修繕を含む。)	10(6)	8	経年劣化による突発的な修繕は発生したが、計画修繕を行いライフサイクルの圧縮に繋げ、利用者並びに従事者の利用しやすさに貢献した。	8	計画的な修繕に努めた。	
16 安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	4(3)	3	根本的な修繕が必要な箇所を除き、落下防止等の安全予防対策も行き、概ね良好に管理できた。	3		
17 清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	4(3)	3	空調等、通常目に見えない部分のメンテナンスもマニュアル化し管理を行った。	3		
18 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	2(1)	1	備品に不備が生じた場合にも利用者に不便の掛からぬ様、迅速に対応を行った。	1		
19 持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。(例:持ち込み物品等管理簿、表示等)	2(1)	1	持ち込み備品に関しては独自の備品帳にて明確に管理を行った。	1		
20 法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2(1)	1	年間計画の通り、点検管理を行った。	1		
21 個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2(1)	1	集めた個人情報は昨年度同様に鍵の掛かる保管庫に保管し管理をした。	1		
小計		26	18		18		

(様式1)

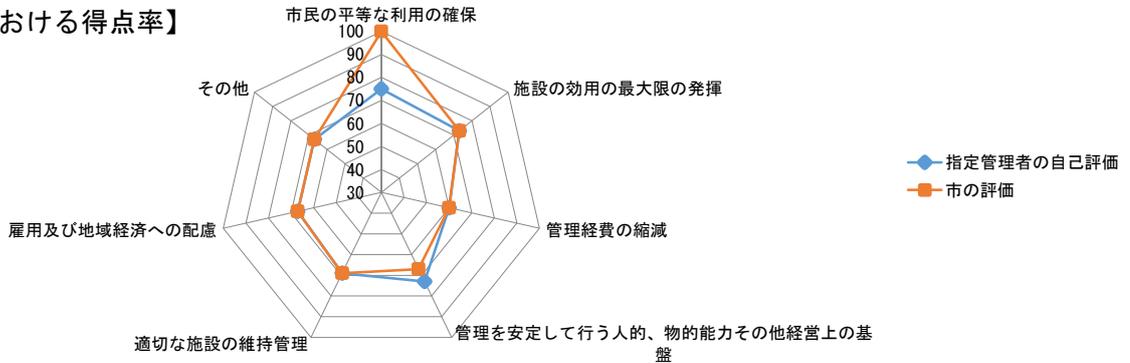
VI 雇用及び地域経済への配慮						
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。 労働条件への配慮は十分か。	3(2)	2	雇用者全員を昇給させることができ、また労働条件に関しても雇用条件書を交わし、明瞭に管理できた。	2
23	地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。 再委託は計画通り適正に行われているか。 市内事業者への再委託を行っているか。	3(2)	2	今年度は新たな人員採用もなく、メーカー等委託業者の従来と変わらず安定した施設運営が行えた。	2
小計			6	4		4
VII その他						
24	活動指標	設定した指標の目標値（開館日数336日、一時預かり事業日数294日、イベント開催数50回）を達成しているか。	2(1)	2	イベント内容を工夫し、目標値よりもより多くのイベントを実施した。	2
25	成果指標	設定した指標の目標値（来館者数16800人、一時預かり利用者数2058人、イベント参加者数900人）を達成しているか。	2(1)	1	コロナ禍から徐々にサロンの入場者、一時保育利用率も戻りつつはあるが、特に一時保育の利用率に関してはなかなか目標値には届かなかった。	1
26	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか 地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか	2(1)	1	外部団体の子育て支援研修の受け入れや子育てボランティア団体の受け入れ等、概ね要項な運営が成された。	1
小計			6	4		4
合計点			100	70		70

実績						
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	合計
指定管理料（千円）	17,882	18,102	18,322	18,542	18,762	91,610
利用料金収入（千円）	0	0	0	0	0	0
利用者数（人）	19,871	13,121	13,266	11,646	12,537	70,441
二次評価（市の評価）	C ⁺	C ⁺	C ⁺	B	B	
備考	新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症、福島県沖地震	新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症	

サービス向上対策

情勢柄、密を回避するために日単位のイベントだけではなく月単位のイベントを設け、利用率の向上を図った。

【各評価区分における得点率】



(様式1)

【一次評価（指定管理者による自己評価）】

評価	点数	評価内容
B	70	<p>【総合評価（評価できる点等）】好評だったスタンプカードの景品交換に大型のガチャガチャを作成し、より魅力的で楽しめるものとなる様、ボトムアップを図った。また、昨年度同様に同じカリキュラムのイベントを複数日に分け、沢山の方にご参加頂ける様、分散開催を行ったり、日単位のイベントだけではなく、月単位のイベントも新たに設け、密を回避し、より沢山の方にご利用頂ける様、工夫した。</p> <p>【改善のための行動計画への対応状況】昨年度同様、一時保育の利用率の低下が感じられる。支援センターを含めた情報発信を行い、また、一時保育の特性をより発揮し、慣らし保育や発育の意味での母子分離環境でのコミュニティー構築の場としての施設等、子育て支援施設的な一時保育の場ともなり得る様、支援センターとよりリンクした対応を心がけたい。また、昨年の懸案事項でもあった近隣住民の方との停車時のエンジン音について数回意見があったのでできる限り改善を行いたい。</p>

【二次評価（市による評価）】

評価	点数	評価内容
B	70	<p>【総合評価（評価できる点等）】隣接する保育所と合同避難訓練を実施するなど、災害への対策を行った。多種多様なイベントを開催し、応募が多かったイベントは多数回開催するなどの工夫をした。</p> <p>【改善のための行動計画への対応状況】一時預かり事業について、利用者の増加を図るため、さらなるPRに努めていただきたい。</p>

【指定期間全体を振り返っての総括評価】

	プラス評価となる点	マイナス評価となる点
指定管理者による評価（一次評価）	施設全体での利用率は幾分コロナ禍前に戻りつつある様には感じるが、特に北部に関してはリピート率が高い様に感じる。大変ありがたい事ではあるが、新規にご利用頂ける利用者様の促進に他施設との連携や情報発信を新たに試み、より開かれた、誰にでも利用しやすい施設の構築を目指したい。	市への各種届出、報告、提出、協議、相談等は遅滞のないよう努めていただきたい。また、物理的問題もあり、一時保育の外線が使えなくなる状況が多々ある為、早急に改善をしていきたい。
市による評価（二次評価）	指定管理期間当初から災害や新型コロナウイルス感染症の蔓延による影響を受けながらも、小さなお子さんを持つお母さん達の交流や相談の場として、現場の保育士達は利用者の気持ちに寄り添い、子育てに対する不安感の払拭に努めていただいた。今後も、不安を持ちながら訪れてくる利用者に対し、子育ては楽しいと思っただけのような積極的な声掛け、関わりに努めていただきたい。	市への各種届出、報告、提出、協議、相談等は遅滞のないよう努めていただきたい。また、施設に老朽化している部分も出てきているため、より計画的な管理、点検、修繕等を行っていただきたい。